

【学位授与の状況等】

令和3年度～令和6年度修了者の学位を取得するために要した年数

〈博士前期（修士）課程〉 ※標準修業年限2年、在学期間は4年まで（但し休学期間(通算最大3年)は在学期間を含めない）

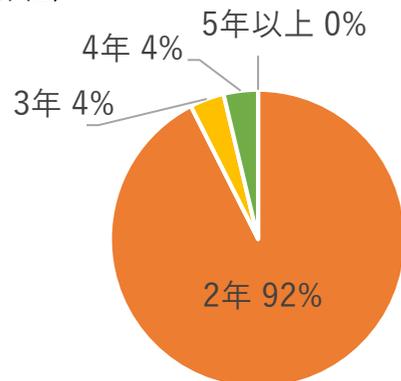
修了年度	学位取得者数 (人)	学位を取得するために要した年数とその人数						学位取得 平均年数
		2年	3年	4年	5年	6年	7年	
令和3年度	58	51	5	2	0	0	0	2.16
令和4年度	61	56	3	2	0	0	0	2.11
令和5年度	61	58	2	1	0	0	0	2.07
令和6年度	80	74	3	3	0	0	0	2.11
計	260	239	13	8	0	0	0	2.11

〈博士後期課程〉 ※標準修業年限3年、在学期間は5年まで（但し休学期間(通算最大3年)は在学期間を含めない）

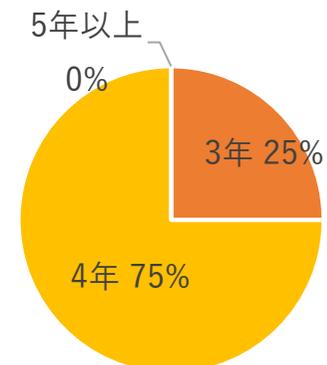
修了年度	学位取得者数 (人)	学位を取得するために要した年数とその人数						学位取得 平均年数
		3年	4年	5年	6年	7年	8年	
令和3年度	2	0	1	0	0	0	1	6.00
令和4年度	5	0	4	0	0	0	1	4.80
令和5年度	1	0	1	0	0	0	0	4.00
令和6年度	4	1	3	0	0	0	0	3.75
計	12	1	9	0	0	0	2	4.58

令和6年度修了者のうち、学位を取得するために要した年数ごとの修了者の割合

〈博士前期（修士）課程〉



〈博士後期課程〉



■ 一の年度に入学した者のうち、標準修業年限以内修了者（満期退学者を除く）の占める割合

〈博士前期（修士）課程〉

年 度	入学者数(人)	うち標準修業年限（2年）修了者の 人数と割合	
		人数(人)	修了率(%)
令和2年度	56	51	91.1
令和3年度	62	56	90.3
令和4年度	64	58	90.6
令和5年度	82	74	90.2
***	264	239	90.5

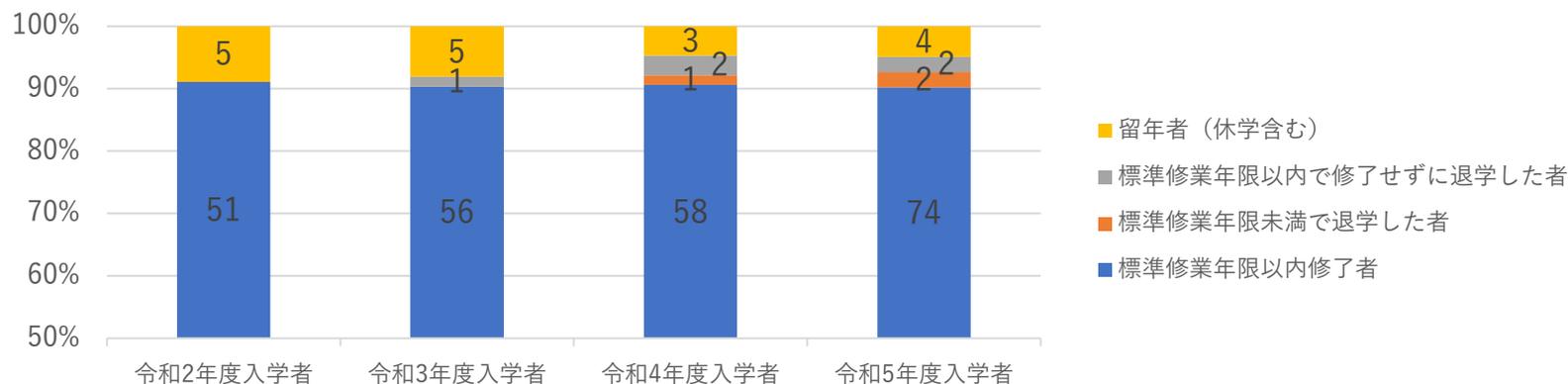
〈博士後期課程〉

年 度	入学者数(人)	うち標準修業年限（3年）修了者の 人数と割合	
		人数(人)	修了率(%)
令和元年度	6	0	0.0
令和2年度	2	0	0.0
令和3年度	4	0	0.0
令和4年度	1	1	100.0
***	13	1	7.7

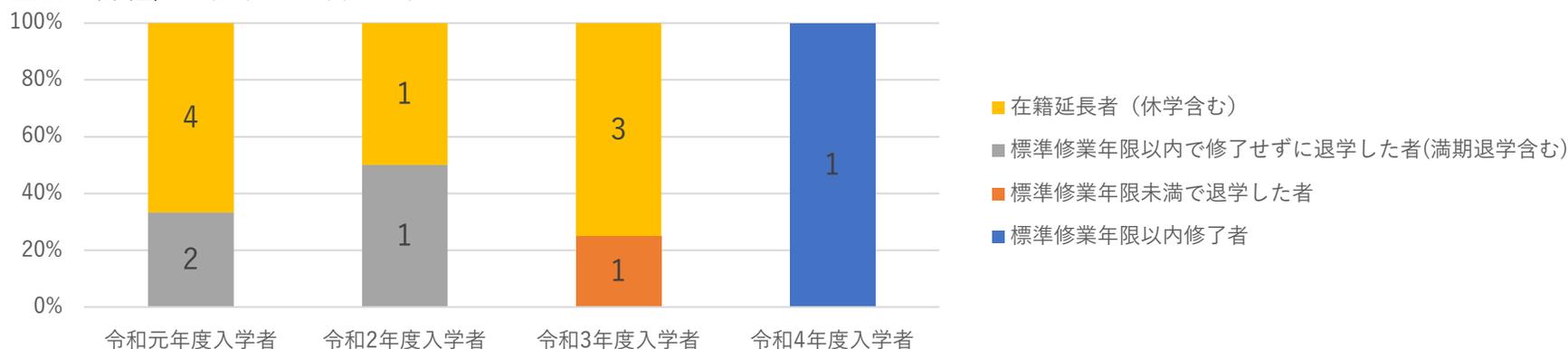
標準修業年限以内の修了率 = (標準修業年限修了者数) / (該当年度入学者数)

■ 一の年度に入学した者のうち、標準修業年限以内修了者とそのほかの割合

〈博士前期（修士）課程〉 ※標準修業年限2年



〈博士後期課程〉 ※標準修業年限3年



〈分析および解説〉

大学院音楽研究科では教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーを策定し、これに基づき研究科に定められた教育課程に沿って、学生個々の素養・適性・能力に応じた指導により、目的とする人材を育成している。[\(詳細は本学ウェブサイト「教育研究情報」を参照\)](#)

博士前期課程（修士課程）について過去4年の推移を見ると、学位取得平均年数は概ね2年となっており、全体の約9割が標準修業年限以内に修了している。残りの1割の学生は標準修業年限を超過しているが、その理由の大半は修了要件未達によるものである。これは本学大学院が学位審査評価基準等に基づき厳格かつ適切に修了を判定しているものの証左と評価することができるが、引き続き標準修業年限以内に学位を授与できるよう、学生個々に応じた適切な学修支援に取り組んでいく。

一方、博士後期課程について学位取得平均年数を見ると令和3年度および4年度が長い。これについての要因は当該年度における学位取得年数8年の者2名が、海外留学により休学した特別なケースを含んでいるためである。よって、過去4年間の標準修業年限以内修了率も平均すると7.7%と低くなってしまいが、学位取得者12名のうち10名が超過1年以内に学位を取得していることから、現段階において直ちに改善すべき問題ではないと分析している。